

親子クイズ

392

		C		
D				A
	F			
		E		
B				

締め切り / 平成17年1月14日 必着
 あて先 / 783-8501 南国市大桶甲2301
 南国市企画課親子クイズ係
 賞品 / 正解者の中から抽選で、5人に
 図書券を贈呈
 第391回親子クイズの答えは、
 「ヘンロミチ」でした。
 応募総数 / 45通 正解率 / 98%

391回解答

【第391回当選者】

ヘ	イ	ミ	ヤ	ク	仙頭	里沙さん(岡豊町)
キ	チ	ク	ク	ジ	濱田	郁子さん(岡豊町)
ガ	イ	ロ	ジ	ユ	井上	幸雄さん(稲生)
	イ	ン	ヨ	ウ	高島	光生さん(田村甲)
					町田	佳世さん(緑ヶ丘)

みんなの 広場

Q 冬の朝の風物詩。稚魚を捕ります。「ABCDEF」

タテ 地球の30%。
 酒、タバコ、コーヒーなどのたぐい。
 奇、偶。
 レジャー。
 転。動。命。
 昆虫採集に虫取り網とこれは欠かせません。
 ヨコ かしいこと。
 キッチン、 エンジニア。
 陸、海、。
 姫路市は何県？。
 橋の縁についています。

親子クイズは、広報委員が南国市に関する
 ことを毎月順番に考えています。

市民からのお便り
 12月号特集のアンシャネさんの記事。あらためて読むと、とっても考えさせられる文です。

まほろばの国からの教育改革

南国食育フォーラム2005

あたたかな食で拓く子どもたちの未来

【基調講演】

学力・健康を育む確かな食生活

【講師】食と教育研究家 廣瀬 正義さん

「学力をつける食事-知力・気力・
 体力アップの食卓作戦-」の著者

【パネルフォーラム】

あたたかな食で拓く子どもたちの未来

【登壇者】

文部科学省スポーツ・青少年局 学校健康教育課学校給食調査官	小川 達也さん
南国市PTA連合会・ 南国市立日章小学校PTA会長	中川 圭子さん
南国市立後免野田小学校学校栄養職員	石川 利恵さん
南国市教育長	西森 善郎さん
高知県教育委員会中部教育事務所長	西尾 洋之さん

とき 1月29日(土)
 13:00~ (12:30~受付)

ところ ホリディ・ホール (明見)

参加費 無料

申込締切 / 1月21日

* 申込方法についてはお問い合わせください。

主催 / 市教育委員会・市学校給食会
 共催・後援 / 市PTA連合会・市地域教育推進協
 議会・県学校栄養士会・県教育委員会

お問い合わせは、
 学校教育課内南国食育フォーラム事務局
 (880-6568 880-6201)まで

南国市の環境を語ろう!

2月20日(日)

第3回南国市環境円卓会議

参加料無料

パネルディスカッション方式で南国市の環境について話し合う、円卓会議を開催します。
 環境問題に興味のある方、お気軽にご参加ください。

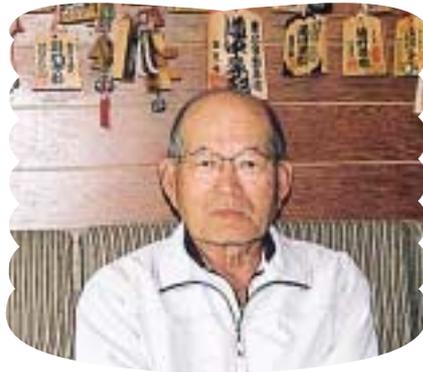
とき / 2月20日 (12:30 開場 13:00 開演)
 ところ / ホリディ・ホール (明見)
 主催 / 南国市・南国市環境委員連合会

お問い合わせは、生活環境課 (880-6557)まで

三重県で全国制覇!

にこにこライフ

54

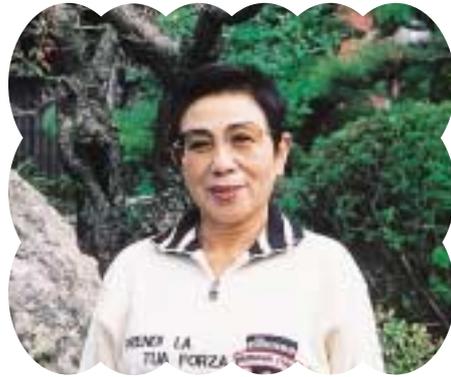


たけし
中澤 武さん(稲生)

妻と息子の3人で暮らしています。会社を退職後は、健康維持の運動も兼ねて稲作をしています。趣味は30年ほど続けているゴルフと旅行。ゴルフは月に一度友人とコースに出ています。旅行は年に数回行き、旅行先では記念のためにお土産の通行手形を買っています。それが今では300個を越えました。国内で行ってない所はあと三重県だけです。今年、新たな目標は特にありませんが、健康には気を付けつつ、好きなことができればと思います。

「晩酌も欠かしません」という中澤さん。好きなことを続けるのも健康の秘けつなんでしょうね。

孫の成長が楽しみ!



あきこ
藤本 明子さん(堀ノ内)

母と夫、息子夫婦に孫2人の7人家族です。母は98歳。不安なく安心して生活できるように支えていければと思います。

日舞、剣詩舞が趣味でコンクールなどで県外に行くこともあります。体が動くうちは続けていきたいです。あとは友人との一杯と孫の相手が楽しく、特に孫の成長は楽しみの一つです。歳を重ねるにつれ、生き方について考えるようになりました。今年とは言わず、この先、身近ことでも努力を重ね、自他に責任の持てる人生が送れるといいですね。

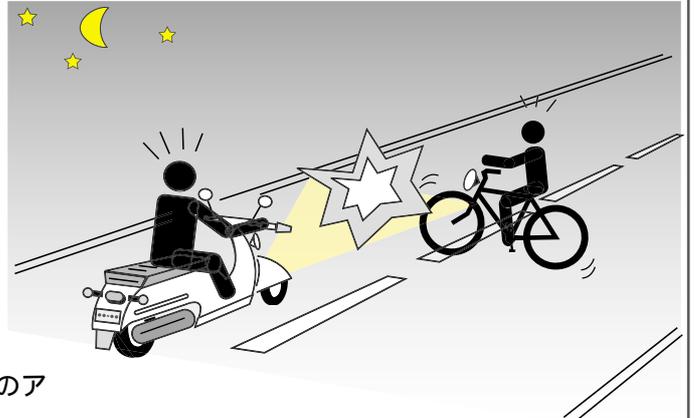
小学校の校長先生をされていたという藤本さん。お孫さんの話では思わず笑顔がこぼれます。

市民からの便り

12月号親子クイズ。今回はカミさんの力を借りて全問解きました。次号も楽しみにしています。

交通安全対策

こうして事故は起こった



検証 ⑨

夜間の自転車事故

事故の概要

午後10時、大学生のA君は、コンビニのアルバイトを終え、自転車で帰宅中でした。

国道を横断するため、車をやり過ごし、二輪車が来るのを認めましたが、十分な距離があると思い横断を開始し、道路中央付近で二輪車と衝突し重傷を負いました。

事故の原因

二輪車が前をよく見ていなかったこと、A君も自転車とはいえ、横断するには、二輪車との距離は十分ではありませんでした。

また、A君は、黒のTシャツにジーンズという服装で、自転車には反射材はつけておらず、二輪車からの発見が遅れました。

この事故から学ぶこと

夜間は車からの距離が判断しにくくなります。四輪と二輪車を比べると、同じ距離でも、二輪車は遠くに見えます。

また、夜間に黒い服を着ていたら車からはまったく見えていないと思ってください。その点反射材の効果は大変優れています。通常は車から40m以上離れると発見しにくくなりますが、反射材をつけていると100m離れていても発見することができます。

資料提供：高知県県民生活課交通安全対策班 823-9319